# 啓林館　i版 化学基礎（化基707）　観点一覧

(1)内容の取り扱い

・大学入試を意識した豊富な内容が，文章とともに図を用いて簡潔に解り易く解説されている。

・「序章」では，砂糖と食塩という身近な物質を用いて，両者を化学的に区別するためにはどのような操作を行えばよいかを題材として，探究の進め方の基本事項を学習できるようにした。

・第1部「物質の構成」や第2部「物質の変化」では，高等学校化学の基礎・基本的な内容に十分な分量を割いている。

・「化学基礎」で必要とされる内容とともに，「化学」の範囲に含まれる内容についても「発展」により適宜とり扱われている。例えば，「電池・電気分解」などが「発展」で扱われており，「化学」へとスムーズに移行できる。

・「終章」「巻末」では，日常生活と関連する化学技術や物質の性質を紹介するページなどを設けており，生徒の興味や到達目標に応じて取り組めるよう配慮されている。

(2)構成・分量

・ページ数や内容が豊富なわりに，薄くコンパクトである。

・重要な公式や法則は枠で囲み扱っており，生徒の注意を喚起する構成となっている。

・中学校の既習内容に「復習」マークを付しているので，確認しながら学習することができる。

・基本的な問題が「例題」として丁寧に解説されている。また，章末には「章末問題」があり，記述問題も掲載され，単元内容の理解度をチェックできるようになっている。実験を基に考察するなど，思考力・判断力を養うための問題を，各章末に「思考力を鍛える」として設定した。

巻末には本文中の問題の詳細な解答・解説を設けており，生徒が到達度を確認しながら取り組めるように配慮されている。

・章末には「学習のまとめ」が設けられており，重要事項の確認をすることができる。

・教科書の各所に「探究」「やってみよう」を設定した。これは，探究・実験などの活動を通して学習内容を理解し，科学的な見方・考え方を働かせ，考察し，表現する力を育むことをねらいとしている。

・「探究」では，「課題」，「仮説」，「計画」，「準備」，「操作」，「結果」，「考察」と探究の過程を明示し，生徒が各過程を意識しながら実験を行えるように構成した。

・身近な生活に関わる内容や本文の記述内容を一歩深めるための内容が，「参考」や側注の様々なコーナーで豊富に扱われており，大学入試に必要十分な内容が網羅されている。

・巻末に「実験上の注意事項」や「実験の基本操作」など，豊富な資料の掲示があり，生徒に実験させる場合，使い易さに適している。

(3)表記・表現および指導上の便宜

・化学用語にルビ（ふりがな）が多く，生徒が読み易いように配慮されている。

・矢印などの色使いが１冊を通して統一されており，理解の助けとなるよう配慮されている。

・実験用の器具などの写真を掲載し，生徒が操作をイメージしやすいように配慮されている。

・色覚の個人差を問わずより多くの生徒に必要な情報が伝わるCUD（カラーユニバーサルデザイン）に配慮されている。

・教科書の小口側にインデックスがあり，学習する箇所をすぐに開けるように配慮されている。

(4)その他

・化学の学習の際に必要な数学的知識が無理なく身につくよう，指数や対数の内容が，適宜図などを用いて解説されている。